

I 令和2年度 総合政策部の施策

令和2年度 総合政策部の施策

北海道においては、全国を上回るスピードで人口減少が進行し、地域の皆様が安心して暮らしていくための基盤の確保が課題となる中、令和2年は、道内7空港の一括民間委託のスタートや、民族共生象徴空間「ウポポイ」のオープンなど本道の魅力を世界に発信する大きなチャンスを迎えます。

活力に満ちた北海道を築いていくためには、こうしたチャンスを着実につかみとり、多様な主体との連携の力で、直面する様々な課題の解決に取り組んでいくことが必要です。

総合政策部では、「連なる好機」、「課題解決に向けた挑戦」、「多様な連携」、「未来の創造」の視点に立ち、各部との連携を密にしながら、施策推進に向けて取り組んでいきます。

- 道の重要政策の総合的な企画・調整を行うとともに、「第2期北海道創生総合戦略」や「北海道強靱化計画」、「北海道 SDGs 推進ビジョン」等の着実な推進、土地・水対策や総合教育の推進等により、北海道のめざす姿「輝きつづける北海道」の実現を目指します。
- 政策の企画・立案の基礎となる各種統計や道政に対する要望等を把握するとともに、道政への理解や参加を促進するため、道政情報等の積極的な発信に取り組むなど、開かれた道政の推進を目指します。
- 「世界の中の北海道」という視点に立ち、姉妹友好提携地域や日露地域・姉妹都市交流年が始まったロシアとの交流を拡大するとともに、多文化共生社会の実現に向け、外国人の受入環境整備や理解促進のための普及啓発、情報発信の多言語化、日本語学習機会の創出に取り組むなど、国際社会での連携・交流の拡大を目指します。
- 北海道 Society5.0 の実現に向け情報化施策を推進するとともに、利便性の高い移動の実現を目指す MaaS の取組をはじめとする総合交通対策及び交通・物流ネットワークの構築や航空路線の誘致に取り組むなど、安心して暮らせる基盤・環境の整備や経済の活性化・自立化に寄与することを目指します。
- 「ほっかいどう応援団会議」などを通じた官民連携の推進、振興局を拠点とする地域の特性を活かした地域づくり、移住・定住や集落対策、市町村行財政の効率的な執行に向けた助言や広域連携と地方分権の一体的な推進など、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を目指します。